歴女らに特別な日を……

大阪城を背に 戦国〝甲冑婚〟

中央区

大坂の陣から400年の節目を経て、NHK大河ドラマ「真田丸」の放映で盛り上がる大阪城（中央区）で、甲冑（かっちゅう）姿の挙式プランが誕生した。式の進行では、「刀納めの儀」をしたり、勝ちどきを上げたりと一貫して戦国時代をイメージしているのが特徴。運営会社は「〝歴女〟や戦国時代好きのカップルに特別な日を提供したい」と思いを込めている。

大阪城を背にした西の丸庭園内で執り行う挙式

歴史的な建造物の活用を手掛ける「バリューマネジメント」（北区）が運営。挙式は大阪城西の丸庭園内のレストラン「大阪迎賓館」で執り行う。

その名も「オリジナル武将甲冑婚―出陣」（70万2千円）。戦国時代をはじめ、古くから成功や勝利を願って縁起を担ぐ儀礼を広く出陣式と呼んできたのを踏まえ、今回の企画では、挙式する2人の幸せを願い「出陣」と名付けた。

新郎は、戦国時代の武将の甲冑を再現したよろいかぶとを着用。新婦は白無垢（むく）の和装で臨む。

式では、両家で結婚の契りを交わす「固めの盃（さかずき）の儀」や、新婦から新郎に「家族を守って」と家庭の守り刀を渡す「刀納めの儀」などを行うと、新郎新婦の前途を祝して参加者全員で勝ちどきを上げる。

同社は、婚礼事業を手掛ける中で、大阪城公園内での結婚記念の写真が好まれる点に着目。歴史好きの女性〝歴女〟をはじめ、戦国時代の愛好家らの需要に応えようと企画した。

プランを開始した8月には模擬挙式を実施。甲冑姿の新郎役が「どんなときも家族を守っていくことを誓う」と巻物を読み上げる演出もあり、出席者たちの注目を集めていた。

同社の他力野淳社長は「大阪城は日本の文化を大切にする方々に愛される場所。そんな特別な場所で歴史的な衣装を身にまとい、一生に一度の日をつくり上げてほしい」と呼び掛けている。

模擬挙式では、新郎役が巻物を読み上げて誓いの言葉を述べた

「府ハートフル企業顕彰」 4企業に表彰状

中央区

大阪府は障害者の雇用促進や職業教育に積極的に取り組む府内の4企業を「大阪府障がい者雇用貢献企業（ハートフル企業）」顕彰に選び、中央区の府庁で表彰状を贈呈した。

「ハートフル企業大賞」は、義肢装具製造・卸販売業の会社を擁する「KAWAMURAグループ」（大東市）。社内に障害者就労支援チームを置き、障害者の受け入れ体制整備や、就労事例集の発行など啓発に取り組んでいる。

「ハートフル企業教育貢献賞」は「西島製作所」（高槻市）が受賞。産業用ポンプを製造、販売する同社は、毎年多くの支援学校の生徒を職場実習に受け入れ、2010年以降で計19人を採用した。

このほか「ハートフル企業チャレンジ応援賞」には、プラスチックや缶類の選別を請け負う「きると」（豊中市）と、美容業「ability」（東大阪市）が選ばれた。

松井一郎知事は「障害のある人たちが、企業で働き世の中を支える実感を持つことは生きがいになる」と感謝の言葉を述べた。

顕彰は2003年度から行い、今回は対象企業133社から選考した。（山本圭介）

ハートフル企業顕彰の受賞企業の代表らと松井知事（前列中央）

日本型食生活を推進

府調理技能士会が秋季懇親宴

北区

日本料理の調理師で組織する「大阪府調理技能士会」（尾崎滋会長）の秋季懇親宴が北区芝田1丁目の大阪新阪急ホテルで開かれた。会員や関係団体の調理師らが参加し、社会的地位向上と相互の親睦を図るとともに、日本型食生活の普及を推進することを確認した。

1日に開催。尾崎会長は冒頭「創設27年を迎えることになり、日本料理の知識、技術の情報提供や将来を担う子どもたちへの食育活動の推進を目的としたイベント参加などの活動を展開していきたい」と述べた。

同会の森口冨士夫特別相談役（日本調理師連合会会長）は「今のままでは若い料理人に日本料理の神髄を継承できるか危機感を覚えている。高い技術を次世代に継承するために会員の皆さまとともに一層尽力したい」と意気込みを語った。会場では神田川俊郎全日本調理師協会名誉会長、片田勝紀全国日本調理技能士会連合会会長、夏目敏昭大阪府技能士会連合会会長らが祝辞を述べた。

第2部では石山仙宙京都府日本調理技能士会会長の乾杯の音頭で祝賀会に移り、会員らは親睦を深め合った。（大山勝男）

「日本型食生活の普及を推進したい」とあいさつする尾崎会長

中小企業家同友会から

支部例会で経営学ぶ

大阪同友会は、地域ごとに26支部が活動しています。支部は、同友会の基礎の変革」をテーマに報告を行います。同社は、海外生産と国内生産の空洞化・縮小が劇的にすすむ繊維業界にあって、財務体質と企画提案力の徹底した強化、第二創業などを通じて業績を伸ばしてきました。

また同日、東成・生野支部では旭電機化成の原守男専務が「ずっと下請企業のままでいいのか！」をテーマに、自社ブランド商品、オリジナル商品づくりについて報告します。

例会は公開行事となっています。経営者の方、後継者・経営幹部の方、ぜひ、ご参加下さい。例会についての詳細は電話06（6944）1251、同友会事務局。

は、老舗の油屋を強みに、油商売の「質で日本一」になるというビジョンを数年前に掲げました。ビジョンの実現を目指して2人の社員で「おもろいもん事業」を立ち上げました。このチームの提案で、オリーブオイルに出合い直輸入と販売を始めました。この取り組みが社内でも刺激となり、社風を革新する確かな力となっています。

26日は西支部で三恵メリヤスの三木得生社長が「21世紀型企業づくりへ

今春の「日想観」で真西に沈む夕日に染まった石鳥居

浄土信仰伝える宝物 16日から「秋季名宝展」

天王寺区

天王寺区の和宗総本山四天王寺・宝物館で16日から「秋季名宝展」が開かれる。同寺は平安時代後期、浄土教の広まりとともに極楽浄土の東門中心と位置付けられたことにちなみ、会期中は浄土信仰を伝える宝物や極楽浄土を観想する日想観について紹介する。11月13日まで。

主な展示品は「四天王寺縁起（根本本）」（国宝）▽木造阿弥陀（あみだ）三尊像（重要文化財）▽四天王寺別当次第（大阪市指定有形文化財）など。

開館時間は午前8時半～午後4時半（10、11月は同4時）。ただし9月19日～25日、10月21日に限り午前8時～午後5時。入館は閉館20分前。拝観料は大人500円、高校・大学生300円、中学生以下無料。問い合わせは電話06（6771）0066。

19度目の優勝を飾った大阪シティ信用金庫

大阪シティ信金が優勝 府選抜軟式野球

西日本選手権の予選を兼ねた「第68回大阪府選抜軟式野球大会」の最終日は6日、住之江公園野球場で決勝を行い、大阪シティ信用金庫が住友電工大阪を3―1で下して19度目の優勝を飾った。

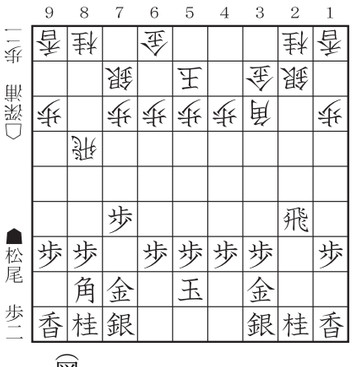
大阪シティ信用金庫は三回に2点を先制すると、四回にも1点を加えてリードを広げた。

西日本選手権は10月21日から高知県で開かれ、大阪シティ信用金庫は大阪府代表として頂点を目指す。

▽決勝
住友電工大阪　00000000 1＝1
大阪シティ信用金庫　00210000 ×＝3
（住）山口、雪丸―中田（大）岸本、下平、森脇―豊岡

第42期 棋王戦 本戦2回戦【第2局】第2譜（37手）

先▲八段 松尾 歩　△九段 深浦 康市



（図は▲3八金まで）

▲4八銀　△1四歩 2
▲7七角 2　△1五歩 1
▲6八銀 58　△7四歩 16
▲3六歩 3　△7三桂 1
▲3五歩 13　△1六歩 3
▲同歩 25　△7五歩 57

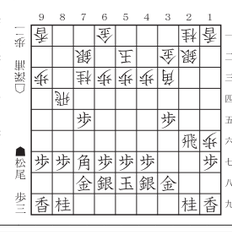
勝負師

松尾は愛知県出身。1994年に奨励会に入会、99年春にプロ棋士の四段に昇段した。10代でデビューを果たした松尾も、気づけば今年で36歳になる。段位も八段までのぼった。居飛車の最新形を中心に戦う正統派だが、勝負師の一面も持ち合わせている。

松尾のデビュー戦は、今もはっきりと覚えている。松尾は当時から正統派居飛車党として知られていたが、その将棋は迷わずに飛車を振ったのだ。結果は緩急自在の指し回しを見せた松尾が完勝だった。新四段にしては度胸がすわっていると、△1六歩▲同歩△1八歩▲同香に△1九飛と打ち込んで、後手の攻めが続く格好になりやすい。

先手が▲3六歩と突いて、飛車の横利きが止まった。後手はこのタイミングで打って出た。詳しくは次譜にて。（内田 晶）

【指了図】（図は▲7五同歩まで）



▲松尾 歩三

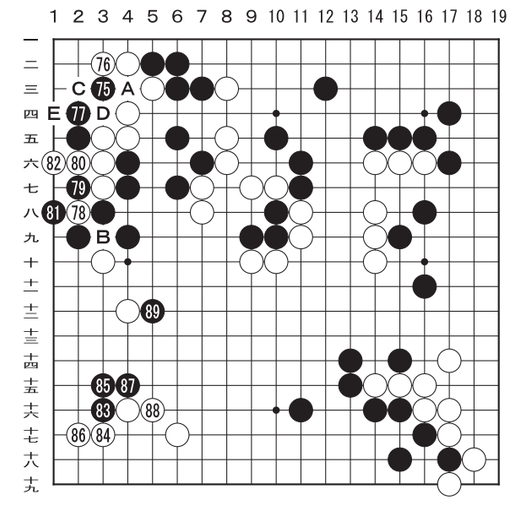
持ち時間各4時間
消費 ▲2時間3分 △1時間21分

第35期 女流本因坊戦

《協賛 JA共済連 共栄火災》

本戦2回戦【第5局】第7譜（78―89）

○初段 西山 静佳
●八段 吉田 美香（6目半コミ出し）



起死回生の一着

白78のアテ込みとはうまい手があったものだ。黒Aの切りと79の連絡を同時に防ぐ起死回生の一着で、西山はピンチを脱した。白78に黒Aなら白Bと切ればいいし、また黒79、白80に次いで黒Aなら白C、黒D、白Eからするすると連絡する手がある。

「黒75と打たれた時に白78に気付きました。その前は何とかなるかなと思っていたのですが（笑）」と西山。さすがに度胸が据わっている。

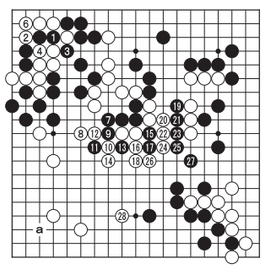
吉田は白78と打たれた瞬間、「ひどいな。あきれました。びっくりするなあ」とボヤキを連発。黒83と手をつけていった手つきは、明らかに自分自身に怒っていた。

だがこの黒83が苦戦をはっきりさせることになった問題手。参考図黒1以下を決めて7と動く勝負手があった（黒5＝1の右ツグ）。黒7以下の数子は取られてしまうのだが、黒19のツケから右辺の白を取り込むことができる。「白28に次いで黒aの三々入りを全滅させないと、白も楽観できない形勢です」と結城聡九段。（甘竹潤二）

（黒75から再掲）……

持ち時間各3時間
消費 ○2時間44分 ●2時間23分

【参考図】



松藤 隆則
profile
1976年生まれ／京都大学法学部卒／2001年10月大阪弁護士会登録／2009年4月京都弁護士会登録
主な取引分野
事業再生（民事再生・M＆A）、一般民事（相続・離婚・事業承継など）、中小企業法務（労働・債権回収・契約など）、債務整理、不動産紛争、交通事故など
ひと言
ITを生かし他業種・他事務所とのネットワークを構築しています。フットワークの軽さと、専門化した法的サービスであらゆる相談に熱く応えます！

浅田 和之
profile
1974年生まれ／京都大学法学部卒／2001年10月大阪弁護士会登録
主な取引分野
一般民事・商事、競争法（独占禁止法、景表法、下請法等）、交通事故、事業再生・M&A、倒産、不動産紛争、刑事等
ひと言
総合力のある事務所なので、どのような案件にも適切に対応します。どうぞよろしくお願いします

西村 直樹
profile
1977年生まれ／京都大学法学部卒／2001年10月大阪弁護士会登録／20011年中小企業診断士登録
主な取引分野
事業再生（民事再生・会社更生・M＆A）、一般民事、商事、債務整理、不動産紛争、交通事故など
ひと言
法律問題はもちろんのこと、日常の経営面の問題に関しても気軽にご相談ください。問題解決に向けてベストを尽くします！

梁 龍成
profile
1972年生まれ／神戸大学法学部卒／2007年9月大阪弁護士会登録
主な取引分野
労働、医療過誤、消費者問題、交通事故、不動産・マンション関連、賃貸借問題、任意整理、破産、個人再生など
ひと言
依頼者の、疑問・苦悩・葛藤に共感し、共に闘い、最後には自らの力で抜け出して生きる力を取り戻すために常に粘り強く全力を尽くします。

中島 宏樹
profile
京都大学法学部卒業／大阪弁護士会登録／広島弁護士会登録
主な取引分野
事業再生（民事再生・会社更生・M＆A）、一般民事、商事、債務整理一般民事事件、労働事件、家事事件、債務整理、刑事事件（被疑者、被告人、少年、裁判員裁判）、被害者保護など
ひと言
様々な立場で事件処理を行ってきた経験を生かし、依頼者の立場に寄り添った弁護活動を展開していきます。

田中 大介
profile
1976年生まれ／大阪大学法学部卒／2007年大阪弁護士会登録
主な取引分野
事業再生（民事再生・M＆A）、一般民事、商事、債務整理、建築紛争、マンション紛争、船舶紛争、海事仲裁、著作権侵害紛争、離婚紛争、相続紛争、成年後見など
ひと言
個人のお客様、会社のお客様を問わず、依頼者の皆様に常に寄り添い、より迅速でよりベターな解決ができるよう、情熱をもってあたります。

それぞれのジャンルに強い
スペシャリストが集結しています。
何でもお気軽にご相談下さい。
弁護士法人 OSAKA-KYOTO
京阪藤和法律事務所
〒541－0041 大阪市中央区北浜3-2-12北浜永和ビル5F
大阪事務所 06-6226-0032
京都事務所 075-251-1503